

文連ニュース

No. 11
2020年7月31日

発行／飯塚文化連盟
〒820-0041 飯塚市飯塚14-67
TEL0948-22-3274(コミセン4F)

明日に想う

会長 紙野美寿江

会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大の渦中、憂慮の思いでお過ごしのことと存じます。

今年は、第39回飯塚新人音楽コンクールを中止とすることから始まった。

39年という歴史を作り、今では日本を代表するクラシックコンクールに取り上げられ、毎年、日本全国から将来をかけて来飯する若い音楽家達のことを思うと中止は断腸の思いであった。

また、加盟個々のサークルの記念公演等が次々と延期、中止の報を受けるたび、これまで準備にかけてきた時間・労力を思うと胸が痛む。

今は、中止にエネルギーを注がなくてはならない事態が続いている。

数日前、NHKのニュースを見ていると、懐かしい顔が飛び込んできた。第36回飯塚新人音楽コンクール声楽部門一位入賞者（日本音楽コンクール第一位）と3人のテノール歌手だ。やっと動き出した公演に向けてソーシャルディスタンスを取りながらのリハーサル光景だった。

思わず正座して見入った。いい気持ちになった。

文化は贅沢品ではない。必需品だ。コロナでこころが乾燥している今、文化に触れながらの日常生活をと切望しながらも己に自粛を強いている。

早く生の声が聞きたい！生の音もステージもあらゆるジャンルの生が、生はいい！

しかし、今はご自愛専一でお願いしたい。

暗く心重い日々のは明くる軽やかな日が来るそうだ。そんな明日を想い祈ろう。

可哀そうな人類は

名誉会長 小出和典

“コロナ禍も異常気象も元凶は ^{むみやう}無明人類の驕りそのもの”

「^{むみやう}無明人類」とは、欲望のとりこになっている煩惱人間ども。つまり、新型コロナウイルスへの対応は、中国・アメリカ・ブラジル等に見られる経済最優先の愚行が、感染者1,500万人、死者15万人の犠牲を出すという取返しのつかない惨状を生んでいる（7/24現在）。一方永年CO₂を、各国とも野放図に放出し続けた結果温暖化現象を招来、地球^{かいびやく}上開闢以来の豪雨禍に見舞われ、惨憺たる被害を露呈することとなった。

コロナ禍も異常気象も、己中心の利害のみにとらわれた可哀そうな人間どもへの酬い、どうすれば改まるのだろうか。

2020年度 定期総会終わる “新型コロナウイルス感染拡大防止で異例の総会”

4月12日（日）にコミュニティセンター401号室で茶道部門による呈茶の後、開催が予定され、準備が進められていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為集会を開くことができず中止を余儀なくされた。

対応の検討を重ね、規約第6章（専決）第20条により、運営委員会を総会に兼ねることで調整。その後、スタッフ会議、運営委員会も市の要請で開くことができなくなった。そこで、先ず総会議案を「事務局、役員、会員研修事業部」合同会議スタッフに送付、諾否返信を受け取り、承認を得て、運営委員29名に総会議案を送付、また、諾否返信の結果、すべて原案通り承認可決され、総会が無事終了したことを運営委員に文書で報告。これを受けて、加盟131サークルに総会資料を4月28日に送付。

こういう流れの中で総会を終了した。

新入会サークルのご紹介

夕和会

代表者：吉留夕吹

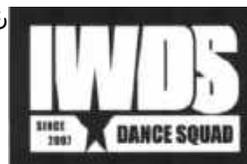
幸袋の地に茶道教室（表千家）を開かれて30年。代表の吉留先生は茶人として永く、そして深く茶道文化を地域に根づかせる為活動し、後進の育成に力を注いでおられます。

広報委員 迎 千栄美

I WALKERS

代表者：中島佑輔

I WALKERS DANCE SCHOOLは今年で14年目になるダンススクールです。本スクールはこれまでに様々なイベントに出演させていただき、いづか街道まつりにも毎年参加させて頂いております。これからも飯塚市にダンス活動で地域貢献できるように励んでまいります。よろしく願いいたします。



令和2年度 第1回 運営委員会開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、マスク着用、手指の消毒、会場の換気等配慮しながら、6月23日（火）コミュニティセンター401号で開催された。

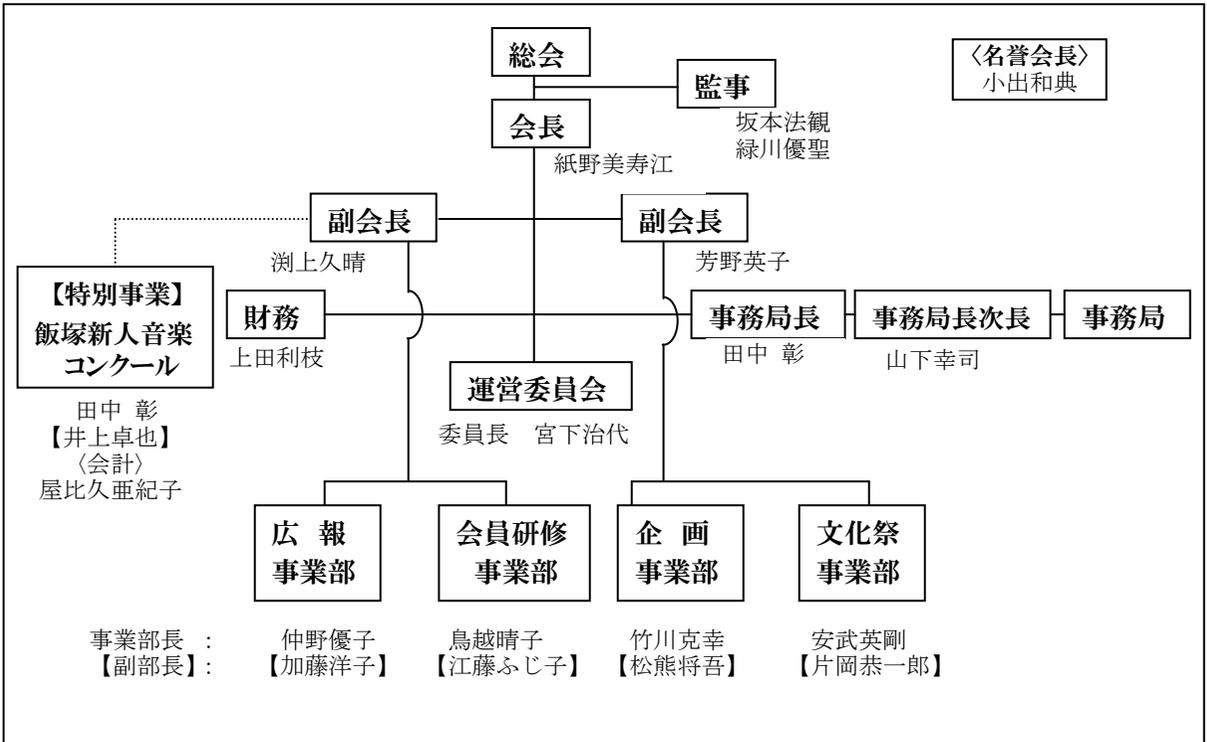
まず、種々の事業中止の経緯、現状報告がなされた後、運営委員長に宮下治代氏（演劇）を選出。下記のこと決定された。

- ・運営委員の所属事業部
- ・各事業部より事業計画と役割分担。

やっと集会を開けた感あり。従来と違うことは出席者全員の連絡先の名簿提出である。

【令和2年度飯塚文化連盟組織図】

(敬称略)



【4事業部の構成スタッフ】

(敬称略)

	広報事業部	会員研修事業部	企画事業部	文化祭事業部
事務局	許斐富子	久木田英子	井上卓也 大上泰治	原 寛 城丸幸弘
運営委員	春すみれ (器楽) 横田 正 (合唱) 宮下治代 (演劇) 渡邊秀雄 (川柳) 迎千栄美 (洋舞)	中村昭二郎 (写真) 大港直美 (歌唱) 高橋雅弘 (尺八) 杉本禎泉 (華道) 村上英峰 (吟詠) 藤 啓子 (箏曲)	高武礼子 (器楽) 御幡 岬 (洋舞) 智賀聖鷹如 (日舞) 若柳紀雀 (民踊) 千草玉風 (新日舞) 池田富男 (演劇) 白神精一 (総合)	原田敏規 (絵画) 松田耕次 (合唱) 木月晶子 (能楽) 新開初美 (茶道) 安武照雅 (書道) 三宅澄子 (彫塑工芸) 其田正治 (現代7-ト) 竹森正貢 (音楽) 多田俊子 (茶道) 寺尾禮三 (俳句)

● 第39回飯塚新人音楽コンクール(予選) 5月3日～5日……中止

日本全国からピアノ部門 54 名、声楽部門 49 名 計 103 名の応募があった。
従来通りのスケジュールを変更して5月3日～5月4日午前中をピアノ部門に。
5月4日午後から5月5日を声楽部門に予定し、準備を進めていた。

● 第39回飯塚新人音楽コンクール(本選) 6月7日……中止

● 第39回飯塚新人音楽コンクール入賞者招待演奏会 11月21日……中止

3月下旬より一気に関東関西圏に新型コロナウイルス感染者が増加をはじめ、福岡県も増えていった。毎日刻々と変わる状況を踏まえ、主催者(7者)との電話会議を経て4月1日正式に中止と決定された。

- まず、
- ・ボランティアに高齢者が多い。
 - ・関東・関西圏の参加者が多い。
 - ・感染防止のガイドラインを作って、参加者、ボランティアに届けていても厳しい状況下にある。

等の理由で中止はやむを得ない。

結果的には「緊急事態宣言」で会場であったコスモスコモンが閉鎖になった。

● 令和2年度 第6回飯塚総合文化祭……新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止

飯塚会場	10/17～11/22	(コスモスコモン、コミュニティセンター)
穎田会場	11/ 3	(穎田交流センター、旧サンシャインかいた)
庄内会場	10/31～11/ 1	(庄内交流センター)
筑穂会場	10/24～10/25	(筑穂交流センター)
穂波会場	11/14～11/15	(穂波福祉総合センター)

上記の予定であったが、

- ・「緊急事態宣言」が解除された後から文化祭への参加辞退の連絡が入りだした。6月3日(水)にまず「飯塚会場」の実行委員会を開き、活動状況の確認を行った。
- ・ 6月17日(火)文化祭事業部会議を開催。
文化祭事業部正副部長、5会場実行委員長、会長、副会長、事務局長、次長、文化課で協議。

2月からの自粛に続き、緊急事態宣言へと移行し、会場が閉鎖され、会場の確保ができず全く練習ができていない事、秋冬にむけて第2波が予想される中での文化祭参加者、来場者の安全・安心の保障のないこと等の理由で中止に。

● 令和2年度 第53回飯塚市美術展(市展)[文化祭事業]……中止

● 令和2年度 第43回少年少女俳句大会[文化祭事業]……中止

筑豊地区70の小中学校に向けて作品を募集し、毎年5～6000点の句が寄せられている。優秀作品は俳句部門の会員諸氏が直筆で仮巻に仕上げ作業をしてコミュニティセンターで展示をし、11月3日には表彰式も行われていたが、新型コロナウイルス感染拡大で児童・生徒の安全面において厳しい状況であるとの判断で中止とされた。

● 令和2年度 第9回筑前の國 いづか街道まつり 10月25日……中止

日舞、新日舞、民踊部門の各社中へ「文連おどり隊」としての参加要請をし、祭りに「華」を添えていただいていたが、実行委員会より新型コロナウイルス感染拡大を踏まえて中止との文書を受けた。

令和2年度 研修旅行 中止

今年はコロナに明けてコロナに暮れるのだろうか！

毎年楽しみに待っている方もたくさんいらっしゃる研修旅行が、今年はコロナウィルスの為に断念！

会員研修事業部会議で一度は中止を決定する中で、再度の部会を開き、車中での不安もありバス旅行を中止して代替案をいろいろ練ったが、結果として責任の重さを考慮した上でやむを得ぬ中止と決定された。

下記の表は、飯塚文化連盟加盟団体が減免で使用できる施設の紹介です。

2015年(平成27年)8月17日発行の文連ニュース No.1で、すでにお知らせしておりましたが、コロナ禍の中での活動は規制が生じていると思います。再度ご紹介しますのでご利用ください。

なお、これ以外の施設の減免はできませんのでご注意ください。

飯塚文化連盟加盟団体 施設利用時の減免

● コスモスコモン

- ・市と文化連盟が共同で主催する事業……10割減免
- ・文化連盟加盟団体の通常の使用……5割減免

● 飯塚市中央公民館及び12交流センター

中央公民館（イイツカコミュニティセンター）、二瀬交流センター、幸袋交流センター、鎮西交流センター、菰田交流センター、立岩交流センター、飯塚東交流センター、飯塚片島交流センター、鯉田交流センター、穂波交流センター、筑穂交流センター

庄内交流センター・庄内交流センター別館（旧生涯学習交流館）

穎田交流センター・穎田交流センター別館（旧サンシャインかいた）

- ・文化連盟主催の事業（総会・会議等）……10割減免
- ・文化祭準備等の使用……各団体2回目まで10割減免
3回目以降5割減免
- ・加盟団体の通常の使用……5割減免

※営利目的や名義貸しによる使用については減免対象外となります。

筑豊文化団体連合会（筑文連）会長に 紙野美寿江氏決まる！

筑文連は、福岡県文化団体連合会（県文連）の下部組織として平成8年8月27日に田川市郡、嘉飯山地区20市町村の文化団体が連携しスタートした。それから平成18年の自治体合併後、田川市郡、嘉飯桂11の文化団体が加盟する筑豊ブロック協議会である。

毎年開催される県民文化祭の地域別事業等に取り組んでいる。

その会長に飯塚文連会長の紙野美寿江氏が選出され、事務局が飯塚文化連盟に設置された。

事務局長に田中彰氏、会計に芳野英子氏が就任。

お知らせ

- 文化課の太田朱里氏が4月に異動され、新しく文化振興係に石川雄也氏を迎えました。これから色々お世話になります。
- 飯塚市教育文化振興事業団（イイツカコスモスコモン）館長の橋本周氏が6月30日付をもって退任されました。
たくさんのお力添えをいただきました。
新しい館長に、前事務局長の安永明人氏が就任。
どうぞよろしく願いいたします。
- 第33回 I LOVE 遠賀川は新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止になりました。
毎年各団体に清掃活動のご協力を頂きありがとうございます。
- 7月28日に7者による飯塚新人音楽コンクール主催者会議が開催された。
来年の第40回コンクールにおいて新型コロナウイルス対応を踏まえ感染防止に沿ったコンクール内容等の審議が行われ、40回に向けて動き始めた。

令和2年度第28回ふくおか県民文化祭2020地域別事業 「筑豊踊りフェスティバル」開催！

新日舞、千草流 千草鳳玉社中が飯塚文連より1団体参加(1団体の要請)

日時 11月29日(日)

開場 OTOレインボーホール(大任町)

8月4日(火)に第1回実行委員会が持たれる予定。

新型コロナウイルス感染拡大で開催が危ぶまれるが、現在は開催に向けて進行中。

〈 コロナ禍による活動中止及び順延サークル 〉

- 3/20 九州山口音楽協会 岡田将と上位入賞者による記念演奏会 (コスモスコモン中ホール)
- 3/28 嘉穂高等学校楽友会 第45回嘉穂高等学校学友会定期演奏会
(コスモスコモン大ホール)
- 4/12 木月靖誼会 飯塚能の会 (コスモスコモン中ホール)
- 4/12 中井音楽事務所 飯塚歌謡選手権二次予選 (コスモスコモン展示ホール)
- 4/2~14 筑豊俳句と写真の会 筑豊俳句と写真コラボ展 (飯塚市民交流プラザ)
- 4/19 女声合唱団飯塚マミーコール 女声合唱団飯塚マミーコール40周年記念演奏会
(コスモスコモン大ホール)
- 4/26 竹の森楽宴 精華女子高等学校吹奏楽部コンサート (コスモスコモン大ホール)
- 4/26 ピアノ教室チッペンデール ピアノ発表会 (コスモスコモン中ホール)
- 4/29 カラオケさくらんぼ カラオケ歌謡祭 (コスモスコモン中ホール)
- 5/3~5 第39回飯塚新人音楽コンクール予選 (コスモスコモン中・大ホール)
- 5/6 九州山口音楽協会 岡田将と上位入賞者による記念演奏会 (コスモスコモン中ホール)
- 5/10 筑豊吹奏楽連盟 フレッシュプラスコンサート2020 (コスモスコモン大ホール)
- 5/10 竹の森楽宴 竹の森楽宴祭 (コスモスコモン中ホール)
- 5/17 中井音楽事務所 飯塚歌謡選手権大会 (コスモスコモン中ホール)
- 5/20~21 飯塚市民劇場例会 劇団民藝公演「グレイ・クリスマス」 (コスモスコモン中ホール)
- 6/7 第39回飯塚新人音楽コンクール本選 (コスモスコモン中・大ホール)
- 8/30 混声合唱団コーロサンガ 混声合唱団コーロサンガ45周年記念第15回演奏会
(コスモスコモン大ホール)
- 11/21 第39回飯塚新人音楽コンクール入賞者招待演奏会 (コスモスコモン中ホール)

